

日本鉄鋼協会記事

編集委員会

第3回和文会誌分科会 開催日：5月7日。出席者：加藤主査，ほか22名。

1. 22件の論文審査報告がなされ，掲載決定17件，照会后掲載可1件，修正依頼3件，その他1件であった。

2. 「鉄と鋼」第68年第13号(9月号)に論文12件，技術報告2件，寄書1件，技術資料1件，解説1件，展望1件掲載決定した。

第3回欧文会誌分科会 開催日：5月14日。出席者：大森主査，ほか8名。

1. 17件の論文につき審査報告がなされ，掲載可6件，照会后掲載可4件，修正依頼6件，一旦返却1件であった。

第2回講演大会分科会 開催日：4月23日。出席者：鈴木主査，ほか17名。

1. 前回議事録確認後，第103回春季講演大会の報告が，鈴木主査ならびに事務局よりなされた。

(1) ポスターセッションについて

(2) 座長，講演者，聴講者，また運営上のことについての意見感想

2. 今後の講演大会とポスターセッションの運営について話し合われた。

特定基礎研究会

第4回鋼材の表面物性に関する基礎研究部会

開催日：4月22日。出席者：久松部会長，ほか21名。

1. 共通試料の製造に関する協議

2. 特別講演

(1) 冷延鋼板の表面問題 (住金・中研)

(2) 冷延鋼板の表面とその反応 (新日鉄・基礎研)

3. 部会運営に関する協議

標準化委員会

第87回幹事会 開催日：4月8日。出席者：林幹事長，ほか9名。

1. 昭和56年度業務報告

2. 幹事会業務と今後の日程

3. 昭和57年度業務計画

(1) 東京会議 (2) JIS 原案の作成 (3) ISIJ 規格の作成 (4) SI 単位の推進 (5) JIS と ISO の整合性 (6) 衝撃試験機校正用基準片 (7) 他学協会との関連

4. 工業技術院関係

ISO 鉄鋼部会

第58回 SC4 分科会 開催日：3月17日。出席者：寺垣主査，ほか12名。

1. N927 に対する日本コメントの検討

2. 快削鋼の鋼種選択の検討

3. はだ焼鋼として，JIS SMn420 及び SMnC420 の扱い検討

4. みがき棒鋼の標準寸法の検討

5. Machining allowances の追加調査状況

6. 炎・高周波焼入鋼と熱処理鋼の規定項目比較

第21回 SC7 分科会 開催日：3月30日。出席者：石川主査，ほか13名。

1. SC7 国際会議報告

2. N273, バンド組織の比較法，定量法の見解

3. DIS 643 に対する日本回答について

4. JIS 改正審議予定

5. 鋼質判定試験方法分科会を含めた今後の方針

第2回 SC19 分科会 開催日3月23日，出席者：長尾主査，ほか7名。

1. 常温性質規定継目無鋼管

2. 高温性質規定継目無鋼管

3. 常温性質規定溶接鋼管

4. 高温性質規定溶接鋼管

第75回普通鋼分科会 開催日：4月13日。出席者：小倉主査，ほか15名。

1. 80キロハイテン 2. SPV 3. SLA

4. IACS の High strength steel 2次案

5. 低温圧力容器調査委員会の動き

第87回鋼管分科会 開催日：4月21日。出席者：丸岡主査，ほか15名。

1. 配管用 JIS 改正原案作成分科会の件

2. 改正要望点の検討

高温強度研究委員会

第3回切欠き効果試験分科会 開催日：4月27日。出席者：大南主査，ほか26名。

1. 「切欠き材の低サイクル疲労」に関する文献調査結果について。

2. 小委員会の活動報告について。

小委員会を第2回～第5回計4回開催し，文献調査のあとこの抄訳を委員に割り当て，この抄訳発表が行われた。また，「クリープ温度域における切欠き材の低サイクル疲労寿命推定法」の問題点が2回にわたり討議されこの共同研究のため実施方策(案)が作成され，実験的検討(案)グループと解析的検討(案)グループの作業小委員会を置くことにしたことが報告された。

3. 57年度および今後の分科会活動方針について。

前記作業小委員会の解析グループの機関，実験グループ13機関のメンバーが発表され，供試材はスペシメンバンク材を予定していることが披露された。58年度以降にも共同研究を行うため委員の協力をお願いされた。

第1回高温引張試験分科会 開催日：4月30日。出席者：田村主査(兼)，ほか15名。

「高温引張試験分科会の解消と新分科会テーマ」アンケート結果について。

主査が、アンケート結果を整理した資料「新テーマ」4件について討議が行われた。その結果をもとに主査より高温での材料特性の変化と高温特性(主に脆性、破壊)との関係を主として取り扱う新分科会「高温脆性分科会」(仮称)としたらどうかとの提案がなされ、全員の賛同が得られた。

この新分科会の主査を誰にお願いするかの問題もあるが、差し当たり田村主査が就任されこの分科会を具体化するための内容検討を次回に行うことが了承された。

.....

第1回データシート作成分科会 開催日：4月30日。出席者：横井主査，ほか13名。

1. 「溶接継手及び溶接金属の高温強度データ収集」に関するアンケート調査結果について

アンケート回答依頼先66機関に対し回答総数34機関であった。データがあるとするもの25機関、なしとするもの9機関であった。そのデータは、高温引張、クリープ、クリープ破断を含めて継手関係289件、溶接金属388件で総計677件であった。

2. データの収集と編集について。

主査から出席の委員にこの作業を進めるべきかどうか意見を聞かれ、これを整備する必要があるとの意見により、小委員会を設置して作業を行うことが了承された。ついで小委員会のメンバー6社が承認され、今後行うべき作業予定が検討された。

鉄鋼標準試料委員会

第2回常任委員会 開催日：4月23日。出席者：大槻幹事，ほか15名。

1. 高純度鉄の分析結果の審議
2. フェロ・ニッケル試料の分析時期についての審議

3. 標準値の決定
4. JSSに関するアンケート調査報告案の検討
5. JSSの調整予定
6. 外国標準試料の調査など

鉄鋼基礎共同研究会

第8回融体精錬反応部会 開催日：4月20日。出席者：森部会長，ほか27名。

1. 研究発表

(1) $\text{Na}_2\text{O}-\text{P}_2\text{O}_5$, $\text{Na}_2\text{O}-\text{SiO}_2$ 系融体の熱力学的性質(東工大・工)

(2) 固体鉄と平衡する $\text{Fe}_t\text{O}-\text{P}_2\text{O}_5-\text{Na}_2\text{O}$ 系スラグの熱力学(東北大・工)

(3) 溶銑処理温度におけるスラグ-メタル間のPの分配平衡(東大・工)

(4) 溶銑の脱ケイ処理について(神鋼・中研)

(5) ソーダ灰による溶銑の脱りんと酸素ポテンシャル(日新・呉)

ほかに3編の資料報告があった。

2. 討議 今後の部会運営について

.....

第12回鉄鋼材料の摩耗部会 開催日：4月16日。出席者：木村部会長，ほか23名。

1. 研究発表

(1) 超高炭素鋼の摩耗特性

(2) 高クロム鑄鉄の共晶凝固における溶質元素の挙動

(3) ホットストリップミルワークロールの温度挙動

(4) 液体酸素、液体窒素中での摩耗

2. ロール摩耗のアンケート結果と今後の研究の進め方

.....

第10回介在物の形態制御部会 開催日：4月23日。

出席者：内山部会長，ほか16名。

1. 中間報告書(案)の検討およびまとめ